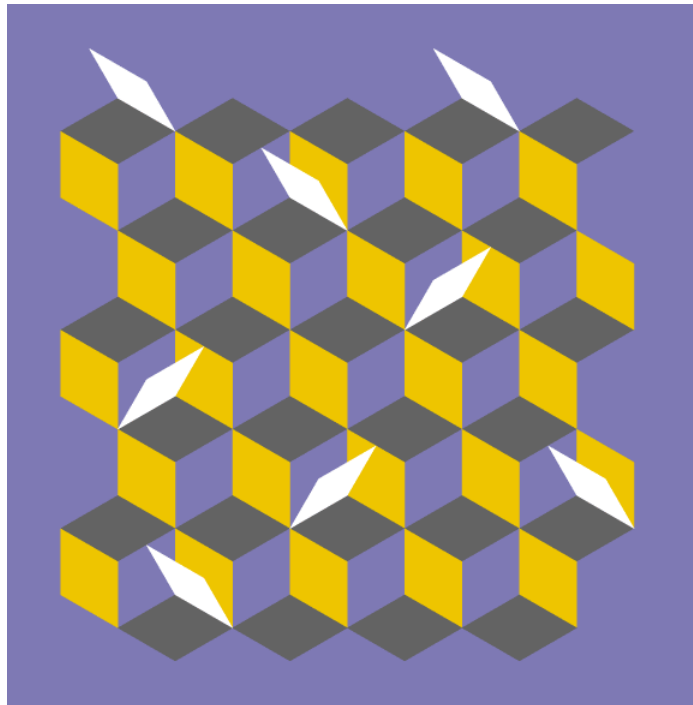


令和2年11月12日作成

EA(エコアクション)21 環境経営ガイドライン



東亜富士巧業株式会社

【 目 次 】

表 紙	1
目 次・注 記	2
1. 組織の概要	3
1)事業所名及び代表者氏名	3
2)所在地	3
3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先	3
4)事業の概要	3
5)事業規模	4
2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日	4
3. 環境経営方針	5
4. 環境経営目標	6
5. 環境経営計画	7
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容(実施体制を含む)	8

【 注 記 】

以下、本文内にて

・24期とは、H29.06 ～ H30.05

・25期とは、H30.06 ～ R01.05

・26期とは、R01.06 ～ R02.05

・28期とは、R03.06 ～ R04.05

を示す。

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者氏名

東亜富士巧業株式会社
取締役工場長 手塚 基

2) 所在地

〒418-0007 静岡県富士宮市外神東町 59 (東亜富士巧業株) 本社・富士宮工場)
〒418-0111 静岡県富士宮市山宮 2297-6 (東亜富士巧業株) 山宮工場)

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 : 印刷 G 統括次長 朝日 亘人
担当者連絡先(EA 事務局) : 経理・保全 G 課長 望月 寿人

TEL : 0544-58-4121 / FAX : 0544-59-1585

E-mail: asahi@toa-fuji.co.jp / mochidukih@toa-fuji.co.jp

URL : <http://www.toasiko.co.jp>

4) 事業の概要

パッケージ等の印刷・加工・製函・製造、
化粧品・医薬部外品等の包装・表示・保管

[製品紹介]



5) 事業規模

(注: 上段は富士宮工場、下段()内数値は山宮工場)

項目	単位	H29(24期)	H30(25期)	R01(26期)
資本金	万円	3,000		
売上高	百万円 (原単位に使用)	3,227	3,353	2,816
従業員数	人	164 (54)	177 (53)	176 (49)
床面積	m ²	13,176 (2,624)		
立地条件	—	準工業区域		



富士宮工場



山宮工場

2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

認証・登録事業者: 東亜富士巧業株式会社
静岡県富士宮市外神東町59

対象事業所: 本社・富士宮工場、山宮工場

レポートの対象期間: 令和元年6月1日～令和2年5月31日

発行日: 令和2年11月12日

3. 環境経営方針

《方針》

1. 当社は、印刷紙器および周辺事業を行う中で環境への負荷低減を図り、持続可能な社会の実現に貢献する。
2. 当社は、組織の活動や製品に関わる環境関連法規、その他要求事項を遵守する。
3. 当社は、組織の活動や製品に関わる以下の項目を環境管理重点テーマとして掲げ、継続して改善に取り組む。

- ①工場から排出する廃棄物(特に不良品)の削減。
- ②工場にて使用するエネルギー使用量の削減。
- ③工場から排出する二酸化炭素(CO₂)排出量の削減。
- ④工場にて使用する水使用量(排水量)の削減。
- ⑤工場にて使用する化学物質使用量の削減。
- ⑥工場にて自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善。
- ⑦工場におけるグリーン購入の推進。
- ⑧工場における生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組の推進。

制定日 :平成 17 年 11 月 28 日

最終改定日:令和 元年 6 月 3 日

東亜富士巧業株式会社

取締役工場長 手塚 基

4. 環境経営目標

課題	令和元年度(26期)目標	中長期目標
温室効果ガス 排出量削減	H30年度(25期)比3%減	R03年度(28期)は、 H30年度(25期)比10%減
廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量 削減	H30年度(25期)比3%減	R03年度(28期)は、 H30年度(25期)比10%減
総排水量削減	H30年度(25期)比同等以下	R03年度(28期)は、 H30年度(25期)比同等以下
水使用量削減	H30年度(25期)比同等以下	R03年度(28期)は、 H30年度(25期)比同等以下
化学物質使用量 削減	H30年度(25期)比3%減	R03年度(28期)は、 H30年度(25期)比10%減
エネルギー 使用量削減	H30年度(25期)比3%減	R03年度(28期)は、 H30年度(25期)比10%減
物質使用量削減	H30年度(25期)比3%減	R03年度(28期)は、 H30年度(25期)比10%減
グリーン購入 の推進	環境に配慮した物品等の購入を推 進する。	環境に配慮した物品等の購入推進を 継続する。
自らが生産・販売・ 提供する製品の環境 性能の向上及び サービスの改善	環境負荷の少ない工法を採用する。 環境に配慮した原材料を使用する。	環境負荷の少ない工法の採用と環境 に配慮した原材料使用を継続する。
生物多様性の保全と 持続可能な利用のた めの取組の推進	FSC 森林認証紙を使用した製品生 産を増やす。(顧客に働きかける)	FSC 森林認証紙を使用した製品生産 を増やすこと(顧客への働きかけ) を継続する。

※廃棄物については、令和元年度(26期)から売上高に関係なく削減することを目標にするため、
原単位ではなく実量で比較する。

※総排水量及び水使用量については、原単位ではなく実量で比較することを継続する。

5. 環境経営計画

課題	環境経営計画
廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量 削減	①廃棄物の分別と整理整頓を継続させる。
	②廃棄物における有価物化を推進する。
	③製紙特寸による用紙削減を図る。
	④廃液削減装置を継続活用する。
	⑤3Rを推進する。
	⑥品質安定により廃棄物排出量を削減する。
温室効果ガス排出量 エネルギー使用量 削減	①照明器具を省エネタイプへ更新する。
	②不在者エリアなどをこまめに消灯する。
	③機器や空調機をこまめに電源OFFする。
	④空調フィルターを定期的に清掃する。
	⑤UVランプの消灯を推進する。(切り替え時・昼休み・機械修理時)
	⑥空調設備の設定温度を遵守する。
総排水量 水使用量削減	①タイマー管理により地下水汲上を最少量にする。
	②防火用水(貯水池)の補水を最少量に管理する。
	③こまめな節水を実行する。
化学物質使用量削減	①環境への負荷が少ない物に替えていく。
物質使用量削減	①品質を安定させ資源を有効に使用する。
グリーン購入推進	①環境に配慮した物品等を優先的に購入し使用する。
	②環境に配慮した材料で修理や工事を行う。
自らが生産・販売・ 提供する製品の環境 性能の向上及び サービスの改善	①作業毎に出るゴミを再利用できる物と廃棄する物を分別する。
生物多様性の保全と 持続可能な利用のため の取組の推進	①FSC 森林認証品を継続して推奨する。

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

課題	取組内容
<p>廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量 削減</p>	①廃棄物の分別及び指導と整理整頓を継続して実施しました。
	②廃棄物における有価物化を推進するよう努めました。
	③製紙特寸により使用する用紙の削減を図りました。
	④廃液削減装置を継続活用しました。
	⑤3Rの推進に努めました。
	⑥品質安定(良品作り)により廃棄物排出量を削減に努めました。
<p>温室効果ガス排出量 エネルギー使用量 削減</p>	①照明器具等を省エネタイプへ随時更新しました。
	②不在者エリアなどをこまめに消灯しました。
	③機器や空調機をこまめに電源OFFしました。(昼休み時間ボイラーも停止)
	④空調設備の簡易点検とフィルターの清掃を定期的に行いました。
	⑤UVランプの消灯を実施しました。(切り替え時・昼休み・機械修理時)
	⑥空調設備の設定温度を遵守しました。
<p>総排水量 水使用量削減</p>	①必要時以外はタイマー管理により地下水汲上を最少量にしました。
	②防火用水(貯水池)の補水を最少量にしました。
	③手洗い・洗い物等で、こまめな節水を実行しました。
<p>化学物質使用量削減</p>	①湿し水に添加しているIPAを5%から4%にする活動をしました。
	②洗浄仕上げ剤をPRTR法非該当品に変更しました。
<p>物質使用量削減</p>	①品質を安定させ資源を有効に使用するよう努めました。
	②製造用紙サイズ縮小により、ラミネートフィルムと塗料削減に取り組ました。
	③箔材の送り幅またはカット幅を見直しました。
<p>グリーン購入推進</p>	①環境に配慮した物品等を優先的に購入し使用しました。
	②環境に配慮した材料で修理や工事を行いました。
<p>自らが生産・販売・ 提供する製品の環境 性能の向上及び サービスの改善</p>	①作業毎に出るゴミを再利用できる物と廃棄する物を分別しました。
<p>生物多様性の保全と 持続可能な利用のた めの取組の推進</p>	①FSC 森林認証品を継続して推奨しました。